

平成25年度決算

平成25年度決算の概要をお知らせします。

平成25年度一般会計は、歳入61億8、011万円(対前年度比1.4%の減)、歳出58億2、818万円(対前年度比1.5%の減)となりました。
(以下、増減の金額や割合は、前年度決算額との比較です。)

【歳入】

町税は1、908万円、0.9%増加しました。法人町民税が1、355万円の減少となった一方で、個人町民税や固定資産税、軽自動車税が増加となりました。特定の事業のために課税される都市計画税は1億1、823万円の収入があり、下水道事業へ充当しました。同じく入湯税は69万円の収入があり、観光事業へ充当しました。

地方譲与税は3.8%の減、地方消費税交付金は0.9%の減となりました。

地方交付税は、4、881万円、3.4%の減となり、このうち特別交付税は前年と同程度でしたが、普通交付税は4、914万円、3.8%の減となりました。これは、個人町民税の納税額が回復してきたことなどにより、交付額が減ったためです。

国庫支出金は、まちづくり交付金事業を実施したことなどにより、前年度から7、373万円、14.1%増となっています。

県支出金は、産地再生関連施設緊急整備事業が終了したことなどにより、6、807万円、18.9%の減となりました。

繰入金金は、基金からの繰入れを行う大型事業がなかったため、3、239万円、82.3%の減となりました。

町債は、緊急防災・減災事業債などの借入減により、9、780万円、10.1%の減となりました。

【歳出】

前年と比べ変動が最も大きい費目は土木費で、2億5、277万円、22.8%の減となりました。これは、緊急防災・減災事業が落ち着いたことによります。

次いで衛生費で、佐久広域連合佐久医療センター整備負担金などの増により6、256万円、14.0%の増となりました。

公債費は、過去に借り入れた起債の償還が終了してきたことにより、3、683万円、5.1%の減となりました。総務費は、地域の元氣臨時交付金の基金積立などにより、6、095万円、6.4%の増となりました。

農林水産業費は、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業などの実施

特別会計の決算状況

会計名	歳入 36億7,313万円			歳出 35億2,604万円		
	決算額	前年度	対前年度比	決算額	前年度	対前年度比
住宅新築資金等貸付事業	684万円	686万円	△0.3%	684万円	686万円	△0.3%
小沼地区財産管理	511万円	655万円	△22.0%	479万円	588万円	△18.5%
国民健康保険	16億4,709万円	16億334万円	2.7%	15億6,988万円	15億6,734万円	0.2%
小沼地区簡易水道事業	1億3,298万円	1億2,619万円	5.4%	1億2,525万円	1億2,015万円	4.2%
御代田町簡易水道事業	8,429万円	9,362万円	△10.0%	7,466万円	8,899万円	△16.1%
公共下水道事業	6億4,063万円	6億4,265万円	△0.3%	6億3,343万円	6億3,432万円	△0.1%
御代田財産区	1,352万円	2,003万円	△32.5%	1,277万円	1,904万円	△32.9%
介護保険事業	9億8,913万円	9億5,532万円	3.5%	9億4,709万円	9億2,791万円	2.1%
農業集落排水事業	2,811万円	2,869万円	△2.0%	2,663万円	2,664万円	△0.0%
個別排水処理施設整備事業	1,288万円	1,203万円	7.1%	1,218万円	1,149万円	6.0%
後期高齢者医療	1億1,255万円	1億1,101万円	1.4%	1億1,252万円	1億849万円	3.7%
合計	36億7,313万円	36億629万円	1.9%	35億2,604万円	35億1,711万円	0.3%

により、5,308万円、18.6%の増となりました。
 消防費は、消防詰所4棟の建築が完了したことなどにより、5,691万円、18.7%の減となりました。

【特別会計】

特別会計は11会計で、それぞれ目的に沿った事業を推進しました。

このうち、御代田簡易水道事業特別会計は、長坂受水槽緊急警報・遠方監視システム設置事業が完了したことにより、16.1%の歳出減となりました。

御代田財産区特別会計および小沼地区財産管理特別会計は、一般会計への繰出しが減少したことにより、それぞれ32.9%、18.5%の歳出減となりました。

【健全化判断比率等】

地方公共団体は、財政状況の健全性を判断するために、次の5つの指標を算定し、公表することが義務付けられています。

① 実質赤字比率

普通会計（一般会計、住宅新築資金特別会計、小沼地区財産管理特別会計）の収支であり、黒字となっているため数値なしとなりました。

② 連結実質赤字比率

特別会計を含めた全会計の収支であ

り、すべての収支が黒字のため数値なしとなりました。

③ 実質公債費比率

普通会計が負担する借金返済額の割合で、公債費や公債費へ充当された負担金などから算定し、平成23年度から平成25年度の3か年の平均で5.8%となりました。

④ 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の比率で、全体の負債、第三セクターや土地開発公社等を含めた負債の重さを示すものですが、当町は第三セクターへの負担がないことや基金残高が多いことなどで数値なしとなりました。

⑤ 資金不足比率

各指標とあわせて、公営企業会計における資金の不足額を算出するものです。各会計で資金の不足額が生じていないため、数値なしとなっています。各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、基準を超えると健全化に向けた対応が必要となります。

御代田町は各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっております。

問い合わせ先

企画財政課財政係（内線52・54）

健全化判断比率 (単位:%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	5.8	-

※数値は暫定値のため、変更となることがあります。

資金不足比率 (単位:%)

特別会計の名称	資金不足比率
御代田町公共下水道事業特別会計	-
御代田町農業集落排水事業特別会計	-
御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計	-
小沼地区簡易水道事業特別会計	-
御代田町簡易水道事業特別会計	-

起債(町の借金)

平成25年度起債残高(普通会計)
66億2,917万円

※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計
＋小沼地区財産管理特別会計

借入先内訳

借入先	金額
政府資金	14億5,283万円
地方公共団体金融機構	8億7,876万円
市中銀行	21億1,901万円
その他	21億7,857万円
合計	66億2,917万円

平成25年度起債事業

事業名	起債額
社会資本整備総合交付金事業	3億7,290万円
緊急防災・減災事業	9,510万円
学校教育施設等整備事業	4,830万円
臨時財政対策	3億5,200万円